

～つれづれなるままに～



いざ飛騨へ 9月11日(火)  
仙台空港～中部国際空港～飛騨高山へ  
巧館(株) シラカワ訪問研修

途中休憩のドライブインにて  
棟梁! 牛肉コロッケ御馳走様  
アツアツでおいしかった。

巧館(株) シラカワにて研修



飛騨には 1300 年前から都の造営や家具造りに携わってきた匠の技が継承されていた。近代化に伴い大正時代にブナ材を利用したトーネットの曲木の椅子作りからスタートし、椅子の産地としてブランドを築いてきた。  
伝統ある飛騨の家具の歴史について学びました。



レストランで食事をしながら宮城の皆様との交流も深まりました。



～つれづれなるままに～

飛騨2日目 9月12日(水)

フィンユール邸(株)キタニ ～白川郷(世界遺産)散策～ 飛騨の家具館 飛騨産業(株)～高山市内散

フィン・ユール邸(株)キタニ



家具職人のシンボル手工神の像が  
入り口にありました。



皆さんバッグを購入したり革のはし  
切れを買っていましたが作品ができ  
たら見せてくださいね(^\_-)☆

建築家でもあったフィン・ユールの自邸を再現したプロジェクト。実際に暮らしの中で使用するために制作された椅子たち。どの椅子も空間にマッチしとても良い座り心地でした。(株)キタニさんの家具づくりに対する真摯で熱い思いが伝わってきました。

- ・写真右上はオークションで買い取った椅子。
- ・右から2番目は奥さんに試作の椅子の座り心地を試してもらった椅子。



高台から見た穏やかで美しい風景。

白川郷散策



香ばしい五平餅！  
地元の美味しいものを食べるのも旅の楽しみの一つです。♪



並んで入ったお蕎麦屋さん。梅干しがのった蕎麦！さっぱりして美味しかった。



蚕棚や手作りの道具が懐かしい感じ。



～つれづれなるままに～

飛騨2～3日目 9月12日(水)～13日(木)

12日飛騨の家具館 飛騨産業(株)～高山市内散 13日 日進木工(株)～INAXライブミュージアム

飛騨の家具館 飛騨産業(株)



暮らしになじんだソファ。クッションの張り替えの依頼も多いとのこと。



ていねいに説明していただきました。

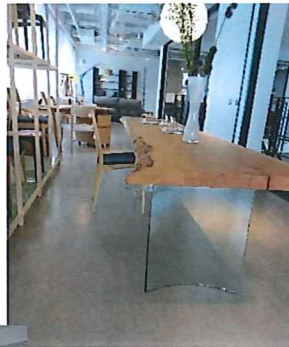
「飛騨の家具」のパイオニア飛騨産業(株)

雑炭か、下駄にしか使われていなかった豊富に自生していたブナ材を活用し、曲木の椅子から家具づくりに取り組みました。飛騨デザイン憲章を掲げ、飛騨のデザインと品質の優秀性を日本だけでなく世界に発信しています。使い込むほどに深い味わいが出る家具。ソファのクッションの張り替えをして長く使うお客様も多いとの事。毎日使う物こそ良いものを使いたいですね。

日進木工(株)



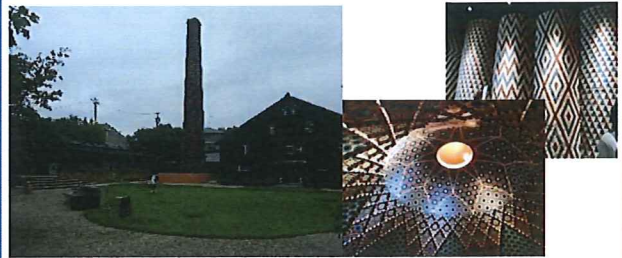
シンプルで上質北欧スタイルの家具。



硝子の脚と無垢板のテーブル斬新で素敵！！



INAXライブミュージアム



INAXライブミュージアムは世界のタイル博物館、土・ドロンコ館、建築陶器の始まり館などタイルの歴史を学んだり、体験ししたりできる様々な施設がありとても楽しい場所でした。時間があつたらびかびかの泥団子に挑戦してみたかったです。



ホウバの上に乗った飛騨牛 みんなでいただきました！



一休みさるぼぼ



風情のある街並み。店じまいが早くてびっくり。



どこかで見たような小道具。色々な絵柄があつてあじわいがありました。

平成 30 年 9 月 12 日 (水) 訪問

## フィン・ユール邸の報告

飛騨の山間に白いフィンユール邸は静かに建っていました。建築家でもあったフィン・ユールの自邸を再現したプロジェクト。実際に暮らしの中で使用するために制作された椅子たち。どの椅子も空間にマッチしとても良い座り心地でした。壁面いっぱいにつくられた窓。掃き出し窓から芝生の庭に出ることができ、キッチンの高いガラス窓からも緑が見え自然とのつながりを感じることができます。自然との一体感や引き戸や袋戸棚などフィン・ユール邸は日本人の感性によく合うと感じました。オークションで椅子を買い取ったお話や、試作の椅子を奥様に試していただいた話など(株)キタニさんの家具づくりに対する真摯で熱い思いが伝わった旅でした。

齋藤 立子



FIC 研修旅行報告  
世界遺産「白川郷」

担当 本柳清子

120 棟あるという白河郷の合掌造りの家屋は、懐かしい雰囲気を感じさせられた。屋根の急勾配は、雪深い環境に合わせて生み出された建築様式であり、毎年 3~6 棟の屋根を葺き替えするという。今年も既に 3 棟が葺き替えられ黄金色の屋根が輝いていた。葺き替えは 30~40 年に 1 度、結（ゆい）と呼ばれる地域住民の共同作業で行われている。屋根材は、萱ではなくススキであることを聞く。1950 年代以降の日本社会の急速な変化の中でもそこで生活してきた暮らしの継承が残存し、山間部で暮らす人々の文化を代表する伝統的集落であることが評価され 1995 年ユネスコ世界文化遺産に登録されたことを知ることができた。



## FIC研修旅行報告

### 飛驒の家具館 飛驒産業（株）

担当 佐藤和弘

『飛驒は全国一の椅子の産地』 戦後、欧米のデザインを手本にして製造した



【曲木椅子】

輸出用の椅子、それが飛驒家具のスタートでした。

飛驒の家具は、飛驒の豊富なブナ・ナラを使用した  
テーブルが象徴の様に思っていたのですが、曲木の椅子  
が最初とは驚きでした。

また、『飛驒の家具』は認証基準要綱を定め、飛驒  
木工連合会を設け、地域団体商標を登録し伝統を普遍のブランドへと飛翔させている。

飛驒の家具館では、ウインドーに椅子が飾られ、  
入口の椅子に掛けた大きな熊もFICメンバーをお出迎え。

入場してからは、『飛驒の家具ものがたり』の  
小冊子とレジメを基に解りやすく丁寧な講義を拝聴し、  
改めて本気で物事に取り組む姿勢に感服いたしました。



【飛驒の家具館】右奥に熊さん



【飛驒産業シンボルのキツツキマーク】

我々も、地方の一員として学ぶべき事多くあり、伝える  
事の大切さを実感しました。

過去の栄光に頼るだけで無く、新しい苗木を植える  
様に、杉材を乾燥・圧縮した新しい素材を開発し、  
若い世代に託す姿には、地場産業の雄としての力強さを  
感じました。



【杉の材料】左=素材 右=圧縮・乾燥後



【椅子のメンテナンス】 何世代にも大切に・・・

また、何世代も大切に使うために、良い商品を提供する事は勿論、メンテナンスや作成側の心意気を伝える事も大事な事だと痛感しました。

人が使う物だから、毎日使う物だから、本物を身近に置きたい。

以上

飛騨高山方面企業訪問報告書

訪問先 日進木工(株) 本社ショールーム 9月13日9時-10時

飛騨の家具目指すところは も・う・ー・人・の・家族 です

西洋家具先進国ヨーロッパでは、代々伝承されてきた家具を、今でもインテリアの一つとして大切に使用して、おじいちゃんの使っていた椅子などと、家宝の用に、自慢します、

「飛騨の家具」も、愛着を持って使い、「我が家の家宝」になれることを、目指している

家具として愛着はもとより、丈夫で長持ちする、品質と、愛着の持てる、素敵なデザイン

今回の視察で、得たもの自分のライフスタイルを完成させる、大きなポイントは？

「もう一人の家族」として愛される家具、そんな夢と希望を付加した、家具づくりに触れ

世代をつなげる機能せいと愛着のある、デザインで夢と希望を届けたい想いを、新たに

日進木工を後にしました、

担当 若杉 繁雄

# 「INAX ライブミュージアムを見学して」

2018年 9月13日

大変楽しい研修旅行に参加でき事務局やご一緒できた方々に感謝しております

何かとお天気が心配でしたがさほど雨にも支障なく予定通りの視察ができてスムーズに行動できていたのではと思っております。ライブミュージアムは最後の予定地でしたが思いのほか見学するところが多くじっくりと見れなかったのが少々残念です。特に明治から大正時代のレンガ造り、ゴシック調の建物、東京駅、大学校等昔の古き建造物の写真など拝見できたのも感激でした。又 INAX さんの歩みも移り行く社会の中で順を追って解説がなされており大変参考となりました。数々の素晴らしい建造物の中に巧みに張めぐらされた色とりどりのタイルはまるでアートの様で驚きました。様々なタイルがこんなにも建物にマッチしモダンな風合いをかもしだせること、その巧みな技術にも感心しての見学でした。このミュージアムで今昔の多種多様なタイルを拝見させていただき学ぶべきことの多い一日でした。

大内由美子



平成30年9月15日

平成30年9月11日

匠館：株式会社 シラカワ を訪問しての所感

今回、飛騨の家具について学ぶために研修旅行に参加させていただきました。

家具についてはなかなか専門の方に話を聞く機会がありませんでしたが、初めに訪問した匠館（株式会社 シラカワ）では、飛騨の家具発祥1300年前から現在に至るまでの様々な歴史をわかりやすく説明していただきました。特に、曲木の技術が飛騨の椅子造りを発展させたということは印象的でした。

ショールームに展示されているリビングダイニングの椅子やソファに座る体験をしましたが、美しいデザインと、丈夫で座り心地の良い椅子があることが確認できて大変勉強になりました。

飛騨の家具は、人の健康や環境に配慮して永く、安心してお使いいただけること、売ってしまっても終わりではなく保証期間が10年で、座面の生地を張替え出来ることなどは木部がしっかりしているからこそ、素晴らしいと思いました。材料は、木材の優れた目利きによる純国産の良質な木材を使用し、デザインも飛騨デザイン憲章（5つの条文）に基づく世界に発信していこうという前向きさで、多種多様な年齢層やインテリアにも対応できるものであることも確認できました。厳しい国際基準の強度試験にも合格した品質で、飛騨の匠の伝統の技術と思いが一つ一つの家具に込められていると強く感じました。

このように、飛騨の家具はお客様にも安心してお勧めできると確信いたしましたので、これを機にお客様に広く進めていきたいと思いました。

大変良い機会に恵まれたことに心より感謝申し上げます。

五十嵐かおり